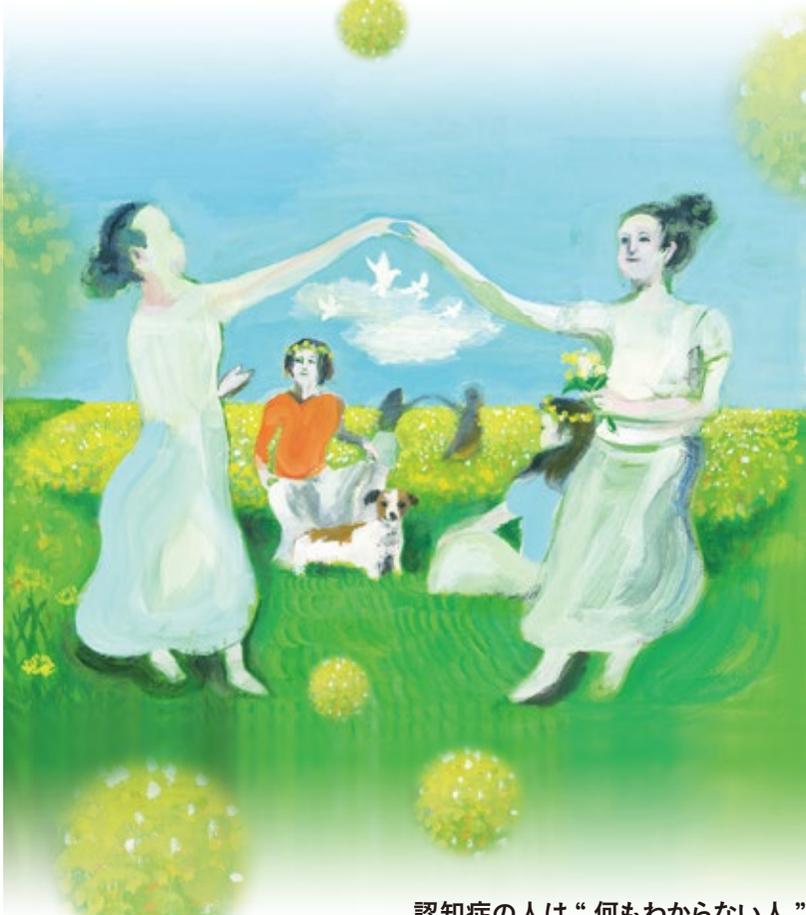


# いのちのほるとり

— 認知症グループホーム 福寿荘 —

でもねきつと  
心は全部わかってるんですよ



認知症の人は“何もわからない人”ではありません。  
“本人なりの思いや願い・できる力を秘めている人”です。  
グループホーム 福寿荘で暮らす人々の、  
生き生きとした心をスケッチしたドキュメンタリー。  
「いのち」の息づかいに耳を澄ませてみてください。

〈ヒューマンドキュメンタリー映画〉

伊勢真一 演出作品

2015年/カラー/1時間25分

製作/いせフィルム <http://www.isefilm.com>

認知症グループホームを舞台に、一人ひとりの物語をスケッチした  
穏やかで、静かで、優しいヒューマンドキュメンタリー。

ゆるめのほり

— 認知症グループホーム 福寿荘 —



## シツ、静かに…。

—人を好きになること。  
ヒューマンドキュメンタリーを創るのに特別な才能  
はいらない。人を好きになることができれば、それ  
でいい。

縁あって二年間程、認知症のグループホームに  
通い、おばあちゃんおじいちゃんたちにカメラを向  
け続けた。素敵だなあ、と感じさせるお年寄りたち  
に引き寄せられるように撮影が始まり、いつの間  
にか四季は巡り、気がついたら編集に悩み苦し  
み、やがて音楽が奏でられ、映画ができていた。

「認知症」という病を見つめる以上に、「人間」を  
見つめよう。ただただ寄り添い、耳を澄ませてみよ  
う。そんな想いで創りあげた作品だ。

そこにはいつも一人ひとりの眩しが、笑い声が、  
寝息が、そして歌声が、聴こえていた。  
もうとっくの昔に旅立ってしまった我が母とよく似  
た雰囲気のおばあちゃんは、目が合うとニコリ  
笑いかけてくれるので、つい依怙鼻扇して、たと  
と撮影した。そのおばあちゃんは、自作の歌を即興  
でつくって唄ってくれたり、突然「みんな寂しいわ  
……」と言い出したりもした。  
賛美歌を唄うおばあちゃんの傍には、数え歌を唄  
うおばあちゃんがいた。軍歌を唄うおばあちゃんと  
「そんな歌、唄っちゃいけない!」と喰ってかかるお  
ばあちゃんのケンカ。そばに誰かが居てくれること  
の、人と人が関わっていくことの幸せのようなもの  
が、そこにある気がした。

およそ八畳程の個室は、故郷の写真、亡き連れ  
合いとの写真、孫たちの写真などで、どの部屋も  
賑わっている。別れて暮らしている人も死んでし  
まった人も一緒に居るんだなあ、と思う。  
喋るのが苦手になり、何も語らないお年寄りたち  
の心のなかも、それぞれの想いや願い、夢で一杯  
なのだろう。

認知症の専門的なことは、よくわからないけれど、  
ほんのしばらくお付き合いして言うことは、認知  
症の人は「何もわからない、できない人」ではなく、  
“本人なりの思いや願い、できる力を秘めている  
人”だということ。“喜怒哀楽を共にしている人”だ  
という真実だ。

偶然のように出逢ったお年寄りたちに、すっかり  
惚れ込んでしまった私は、その想いを映像や音や  
音楽に託した。  
そして、ラブレターのような映画ができあがった。

## 『ゆるめのほり』

もしかしたら、片想いかもしれない。  
きっと片想いにちがいない。

認知症グループホーム 福寿荘を舞台にした、  
おばあちゃんおじいちゃんたちの生き生きとした  
群像ドキュメント。

シツ、静かに……。  
「いのち」の息づかいが聴こえてきますよ。

(演出・伊勢真一)

## グループホーム 福寿荘のこと

北海道・札幌市内にある施設。アルツハイマー型認知症、レビー  
小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症など、重度・  
軽度さまざまな症状を持つ42名の認知症の人々が共に暮ら  
している。武田純子代表が「一人を大切に」「支え合う心」「安心  
して暮らせる社会づくり」をモットーに2000年に立ち上げた。

## 伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京都生まれ。「奈緒  
ちゃん」「えんとこ」をはじめ、数多くのヒューマンドキュ  
メンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的  
に手がけている。「風のかたち」文化庁映画賞・カトリック  
映画賞受賞、「大丈夫。」キネマ旬報文化映画第1位、「傍 (か  
たわら)」キネマ旬報文化映画第6位。2012年日本映画  
ペンクラブ功労賞、2013年度シネマ夢倶楽部賞受賞。近作は  
「シバ 縄文犬のゆめ」、「妻の病-レビー小体型認知症-」。

出 演	— 認知症グループホーム 福寿荘の仲間たち ご家族のみなさん 武田純子 職員のみなさん
題 字	— 細谷亮太
撮 影	— 石倉隆二 世良隆浩
音 響	— 米山靖
録 音	— 渡辺文彦 永峯康弘
照 明	— 工藤和雄
編集技術	— 尾尻弘一
整 音	— 井上久美子
主 題 曲	— 「マイムマイム」
編曲・演奏	— ママリオ(クリスティヌ うえむらまさゆき 大野ミチル ロケット・マツ)
レコーディングmix	— 小俣佳久
絵	— うえむらまさゆき
宣伝デザイン	— 森岡寛貴
企画・制作補	— 遠藤郁美
上映デスク	— 鷲見真弓
制作デスク	— 増馬則子
製作協力	— ヒボコムニケーションズ 一隣社 ハチプロダクション ジئونグラフィック
上映協力	— MOCプロジェクト
企画・製作	— いせフィルム
演 出	— 伊勢真一

お問合せ いせフィルム [www.isefilm.com](http://www.isefilm.com)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階  
TEL: 03-3406-9455 FAX: 03-3406-9460 E-mail: [ise-film@rio.odn.ne.jp](mailto:ise-film@rio.odn.ne.jp)